

福岡市議会議員(早良区)

とちぎ義博

議会レポート号外

(2003年5月19日発行)

発行者:福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-305

TEL.845-7689 FAX.845-8511



電波塔建設のルール確立を！ 住環境の保全、住民合意の視点から

携帯電話会社が、高さ40メートルを超える電波中継塔の建設を着工したために、住宅地の隣接する早良区野芥・重留地域を揺さぶる問題になっています。電磁波による健康不安や交通渋滞の発生懸念、まちの景観などについて住民と会社側の溝が深まっているのです。会社側の住民への説明の不十分さはめぐまませんが、混乱の要因は電波塔の築造について、まちづくりの視点や住民合意のルールが確立していないことにあります。

電波塔の建設をめぐる住民との摩擦は、計画が中止に追い込まれたり(岐阜県多治見市)、裁判で争われる(大分県別府市)など、全国で多発しています。今後も携帯電話の普及によって、いっそう電波塔の建設をめぐる住民とのトラブルが予想されますので、6月市議会では良好な住環境を保全するまちづくりや住民合意の観点から電波塔築造の福岡市独自のルールづくりを提案し議論をすすめます。

福岡市長に解決の斡旋を申し入れる

とちぎ義博は、5月15日早良区選出の福岡市議会議員5名とともに、福岡市長に携帯電話会社が話し合い解決に努めるよう斡旋を申し入れました。

ケヤキ事件究明、 賑わいの商店街づくりへ！ 第3常任委員会(経済・農林・港湾)所屬に

とちぎ義博は、第3常任委員会(経済・農林・港湾)に所属することが5月20日の臨時議会で決まります。

引き続き、ケヤキ・庭石事件の徹底究明で、ピンハネによる損害額の返還を疑惑の元助役などに求めていきます。また、地域の皆さんと一緒に取り組む賑わいの商店街づくりを応援します。

民主・市民クラブに新議員2名が参加

民主党らしい「市民が主役の政治」を福岡市議会ですこすこ進めていきます。応援してください。



写真左から栃木義博(早良区、2期)、森山英樹(中央区、1期)、江藤博美(西区、2期)、金出公子(東区、1期)、三原 修(南区、2期)

福岡市議会議員(早良区)

とちぎ義博

議会レポート号外
(2003年5月26日発行)

発行者:福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.845-7669 FAX.845-8511

ホームページ:<http://www1.ocn.ne.jp/~tochigi/>

Eメール:tochigi@bronze.ocn.ne.jp



解決に向けて会社・住民が歩み寄り 電波塔の建設問題(早良区野芥・重留地区)

同地域を揺さぶる問題になっていた高さ40メートルを超える電波中継塔の建設問題は、5月20日携帯電話会社が築造工事を一時中断して住民との話し合いの環境が整ったことから、解決に向けて動き始めました。電磁波による健康不安や交通渋滞の発生懸念、まちの景観などについて住民と会社側の溝が深まっていました。

福岡市長に解決の斡旋を申し入れる

とちぎ義博は、5月15日早良区選出の福岡市議会議員5名とともに、福岡市長に携帯電話会社が話し合い解決に努めるよう斡旋を申し入れました。

電波塔建設のルール確立を！

住環境の保全、住民合意の視点から

電波塔の建設をめぐる住民との摩擦は、計画が中止に追い込まれたり(岐阜県多治見市)、裁判で争われる(大分県別府市)など、全国で多発しています。今後も携帯電話の普及によって、いっそう電波塔の建設をめぐる住民とのトラブルが予想されますので、6月市議会では良好な住環境を保全するまちづくりや住民合意の観点から電波塔築造の福岡市独自のルールづくりを提案し議論をすすめます。

ケヤキ事件究明、 賑わいの商店街づくりへ！ 第3常任委員会(経済・農林・港湾)所属に

とちぎ義博は、第3常任委員会(経済・農林・港湾)に所属することが5月20日の臨時議会で決まりました。

引き続き、ケヤキ・庭石事件の徹底究明で、ピンハネによる損害額の返還を疑惑の元助役などに求めていきます。また、地域の皆さんと一緒に取り組む賑わいの商店街づくりを応援します。

民主・市民クラブに新議員2名が参加

民主党らしい「市民が主役の政治」を福岡市議会でいっそう進めていきます。応援してください。



写真左から栃木義博(早良区、2期)、森山英樹(中央区、1期)、江藤博美(西区、2期)、金出公子(東区、1期)、三原 修(南区、2期)

福岡市議会議員(早良区)

とちぎ義博

議会レポート号外
(2003年6月23日発行)

発行者:福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.845-7669 FAX.845-8511

ホームページ:<http://www1.ocn.ne.jp/~techigi/>

Eメール: tochigi@bronza.ocn.ne.jp



区民2千人が参加

“地球にやさしい清掃活動”

一人ひとりが身の回りから環境を守ろうとNPOグリーンふくおかの会(特定非営利団体)の呼びかけによる「ラブアース・クリーンアップ2003」が6月8日、市内の主な海岸、河川、山などで実施されました。

この催しは、環境の保全を「地球規模で考え、地域で行動しよう」とする宣言を世界に発した1992年のローマクラブ福岡会議の開催を記念して毎年6月に取り組まれているものです。早良区では、室見川河畔や百道浜海岸などで約2千名の市民が燃えるごみ、燃えないごみをつつひとつ分別収集し、初夏のひと時いい汗を流しました。

百道浜会場では、近隣の住民や家族、企業の従業者など約300人が参加。「とちぎ義博」が地元住民の感謝の思いを代表してご挨拶しました。

電波塔築造の新ルール買します！

市議会 放置外国船の撤去問題も

高さ40メートルの電波塔の建設をめぐる早良区野芥・重留の住民を揺さぶる問題になっていましたが、一年近くに及んだ紛争の解決に向けて携帯電話会社と住民との話し合いが続けられています。

とちぎ義博は6月30日の市議会で、今回の問題を教訓にして住環境を保全するまちづくりや住民合意の観点から電波塔築造の新たなルールづくりの必要性を福岡市長に質します。

また、糸島郡志摩町をはじめ全国的に問題になっている放置外国船の撤去など対策の国への働きかけについて、あわせて質問します。

「目立たせない、増やさない」指針づくり 電波塔で近畿通信局、京都市景観課を取材

とちぎ義博は、6月12日から13日にかけて総務省近畿総合通信局(大阪市)と京都市都市景観課などを取材。景観まちづくりの視点から携帯電話電波塔の築造にあたってのルールの実態を調査しました。電波塔を「目立たせない、増やさない」ための指針を検討し、あるいは定めており、今後の福岡市での新たなルールづくりにむけて参考にしていきます。



福岡市議会議員(早良区)

とちぎ義博

議会レポート号外

(2003年8月20日発行)

発行者:福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.845-7669 FAX.845-8511

ホームページ:<http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/>

Eメール: tochigi@bronze.ocn.ne.jp

とちぎ義博が被災地を調査! 「復旧急げ」「安心して眠れる仮住居を」 被災者の声を関係機関に届ける! 10世帯の家屋土台を浚う濁流 7・19豪雨 室見支流の椎原川(福岡市早良区)



室見川上流域の支流である椎原川が7月19日未明に河川沿いに建つ10世帯を襲い、家屋の土台の一部を浚う災害が発生しました。被災者は親類縁者に身を寄せたり、市の公共施設に避難するなどの不自由な生活を余儀なくされました。

とちぎ義博は、21日早朝から被災者宅を現地に尋ねて調査を開始。洗われた家屋土台と護岸の復旧を急ごう、また本格復旧までの仮住居の確保などについて被災者から喫緊する要望を聞き、市など関係機関に折衝しました。その結果、被災から3日後の22日までには被災者の要望をおおむね実現したところです。

なお、護岸の復旧については、家原松夫県議(民主党・早良区選出)の奮闘で、県土木事務所の迅速な対応が実現でき、被災者に安心感を与えました。

椎原川(早良区)被災者の救済申し入れ

護岸がえぐられ家屋に甚大な損害を与えた今回の災害原因をめぐっては、今後その究明が焦点になります。また、生活支援金の貸付などが彼ら被災者には適用できないという被災の認定基準をめぐる制度上の問題点も浮き彫りになりました。

とちぎ義博と民主・市民クラブは、被災者の救済を市長に強く申し入れ(8月4日)、同地域の住民が安心して自宅で眠れる毎日を取り戻すために引き続き取り組んでいきます。

民主・市民クラブが
救済要件緩和を要請
福岡市
福岡都市圏を襲った大雨被害をめぐり、福岡市議会の民主・市民クラブ(江藤博美代表)は四日、山崎広太郎市長に、被災者を対象とした救済制度の要件緩和などを求める要請書を提出した。
同クラブは「椎原川沿いの福岡市早良区脇山など、家屋や土地に大きな損害が出たのに、現行の救済制度の基準に当てはまらないケースがある。多くの被災者を救済できる制度にすべきだ」と強調。支援金など救済制度の被災要件や所得制限の緩和▽被災状況の認定根拠の情報開示▽被害原因の調査と改修工事の早期着手などを求めた。

8月5日、西日本新聞より転載